



防府市民のみなさんが参加されている人権学習の様子や、防府市内の小・中学校が行っている人権についての取組を広く発信することにより、より多くの方が人権について考えることのできる機会をつくり、「一人ひとりの人権が尊重された心豊かな温もりのある地域づくり」の一助としたいと考えています。人権学習の依頼・質問等ございましたら、生涯学習課人権学習室までご連絡ください。(0835-23-3016)

新規採用・転入教職員等人権研修会 8月4日(水)

性の多様性の問題・ハンセン病の問題・同和問題について
～誰もが持っている「アンコンシャス・バイアス」との関係性を踏まえて～

講師：三輪 知志 人権学習指導員

今年度、防府市で新たに勤務されることになった小・中学校の先生方を対象に、人権研修会が開催されました。

研修のキーワードは「正しい知識と想像力」です。

思い込みや決めつけをすることなく、正しい知識と相手を思いやる想像力をもつことが偏見・差別をなくすためには必要です。参加された先生方は、人権が尊重された学校・学級づくりのため、学校の子どもたちの姿を思い描きながら研修に参加されていました。



アンコンシャス・バイアスとは

アンコンシャス・バイアス＝無意識の偏見のことです。
自分では気づいていないものの見方やゆがみ・偏りのことで、多くは過去の経験や、周囲の人の意見、メディアの情報などから形成されます。自分でも気づきにくい些細な言動に含まれることがあり、注意が必要です。

血液型で相手の性格を決めてしまう

定時で帰る人はやる気がないと決めつけてしまう

LGBTときくと、戸惑いを感じてしまう

「普通は〇〇だ」「それって常識」とよく言うってしまう

小野公民館 地域人権学習会 8月10日(火)

子ども叱るな来た道じゃ
年寄り笑うな行く道じゃ

講師：安田 孝子 人権学習指導員

小野地域の方々と一緒に、認知症を主とした高齢者の人権に関する問題について考えました。熱心に協議をされる様子からは、3つの縁（血縁・社縁・地縁）の中でも、地域のつながりである**地縁**の強さを感じることができました。

参加者からは「認知症と家族の葛藤など、心にずしっとくるものがありました。」
「夫の両親の介護で悩んだこともありましたが、もっといろいろできたのではないかと考えさせられました。」といった声が聞かれ、人権課題を自分の問題として捉え、考えることが、人権の尊重された温もりのある地域づくりのためには大切なのだと改めて感じました。

